

第3学年1組 外国語活動学習指導案

令和5年11月22日（水）5校時

男子18名 女子12名 計30名

指導者 外国語専科 : 松永 希

A L Tの代役：福島 仁美

1 単元名 Unit7 This is for you.

2 単元の目標

○日本語と英語の音声の違いに気付き、形の言い方や、欲しいものを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむことができる。 【知識及び技能】

○欲しいものを尋ねたり答えたりして伝え合うことができる。 【思考力、判断力、表現力等】

○相手に伝わるように工夫しながら、自分の作品を紹介しようとすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】

3 単元について

○単元観

本単元は、グリーティングカードを題材とし、自分が作りたいカードに必要なパーツについて「What do you want?」等の表現を用いながら、伝え合うことができるようにする単元である。

前単元までに、数、色、好きなものを尋ねたり答えたりする表現などについての学習を行ってきた。本単元では、これまでに学習してきた「How many?」や「What color?」等、既習の表現も用いながら、お店屋さんごっこの活動を通して、目的や相手に応じた表現でやり取りをすることができ、相手意識を持って積極的にコミュニケーションを取ることができる価値ある単元である。

相手がほしいものを尋ねたり、パーツの特徴を聞き取ったり、さらに質問をしたりしながらパーツの受け渡しを行うという目的意識を高めることができ、自分の思いを自分らしく伝えようとする表現が可能である。

また、次の学年での What do you want?につながる内容となっているため、児童同士の対話を具体的な場面で体験させる、スパイラルな学習活動が設定でき、場面状況に応じた表現方法を自分の英語表現として確かにしていくことのできる構成となっている。

○児童観

外国語活動に関する本学級の児童の実態は、以下の通りである。（単位：人）

	とても思う	まあまあ思う	あまり思わない	全く思わない
① 外国語の学習は好きですか。	19	6	4	0
② 外国語を話すことは得意ですか。	10	5	9	5
③ 外国語は大切だと思いますか。	23	6	0	0

アンケートの結果から、25/29 人が「外国語が好き」と答えているが、外国語を話すことに関しては、約半数の児童が得意ではないと答えており、自信を持っていないことがわかる。歌やチャンツ、ゲームなどみんなで声を出す活動には生き生きと取り組み、発表活動では正しく表現しなくてはいけな

いという意識や、恥ずかしさなどにより消極的になってしまうことがある。自分からチャレンジした時には、大いに賞賛し自信を持たせるように励ましている。外国語を学ぶことに関しては、全員が「大切である」、「ほぼ大切である」と答えていることから必要性を感じていることがわかる。理由として「外国の人と話したいから」、「外国語を勉強するのが楽しいから」、「外国に行きたいから」などの項目が多かった。普段の授業の様子からも、世界の国々や外国の人に対する興味関心の高さを感じ取れる。また、アルファベットに対しての関心をもち始めてきている。

○指導観

指導に当たっては、まず、担任と専科教員とのデモンストレーションをもとに、「届け！わたしの気持ち。大切な人にグリーティングカードを作ってプレゼントしよう！」という単元のゴールを示し、児童に見通しをもたせる。担任に好きな色や好きな物などの好みを質問し、どんな形や色を使ってどんなカードを作るといいか子ども達と一緒に考える時間を設ける。

本時では、専科教員ができあがったグリーティングカードを担任に渡す様子を見せることで、目的や場面を想定したやり取りのモデルを示して児童に見通しをもたせるとともに、目的意識や学習意欲を高める。**Activity①**として、教科書のリスニング問題に挑戦させる。これにより、既習の表現を想起させることができ、いくつかの形を組み合わせることができる絵柄を予想し答えを推測していく過程を楽しみながら、聞き取るポイントをつかむことができる。**Activity②**では、「大切な人に感謝の気持ちを伝えるグリーティングカード作り」に使う、パーツを手に入れるために「パーツショップ」でのお店屋さんごっこの活動を設定した。店員と客という立場でのやり取りであることから、欲しいパーツの形、色、大きさ、数などを手がかりにしてほしいものを尋ねたり答えたりする表現を用いることを意識させる。

単元を通して、自分が作ったグリーティングカードを相手に喜んでもらいたいという意欲をもたせたい。そこで、単元前半から、場面や目的を替えながら、自分の思いや考えを伝え合う言語活動を繰り返し行っていく。また、カード作りに使用する形 7 種類、10 色と大小のサイズを言語材料として扱うため、どのようなパーツで何ができるか、絵柄作りのシュミレーションをしておくことでその後の活動に自信と期待感を持って取り組むことができると考えられる。話す内容や表現だけでなく、表情、身ぶり、リアクション、繰り返しなどを積極的に取り入れてやりとりを続けられるように仕組んでいく。そうすることで、本校中学年のめざす子どもの姿「外国語でのコミュニケーションを積極的に楽しむ子どもの育成」に迫る学習ができると確信する。

【言語活動の設定】

大切な人に感謝を伝える「グリーティングカード」を作るために（目的）、パーツショップという場を設定し（場面）、どのようなパーツが欲しいのかを尋ねたり、自分がほしい形、色、大きさ、数などについて伝えたりする（状況）ことで、目的意識や相手意識を持ちながら、生き生きと伝え合う児童の育成につながると考える。

4 取り扱う言語材料

【表現】What do you want? / (色・形), please. / What color? / (色), please.

How many? / (数), please. / Here you are. / Thank you. / You're welcome.

【語彙】形 (heart など)、色 (pink など)、数 (one など)、サイズ (big、small)

5 単元計画（全5時間） 本時4／5

時	目標と主な学習活動	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1	○日本語と英語の音声の違いに気付くとともに、色や形などの物を表す言い方を知る。	(聞)		
2	○色や形などの言い方に慣れ親しみ、欲しいものを尋ねたり答えたりする。	(や)	(や)	
3	○色や形などの言い方に慣れ親しみ、欲しいものを尋ねたり答えたりする。	や	(や)	
4	○大切な人に感謝の気持ちを伝えるカードを作るために、相手が欲しいものを尋ねたり、答えたりしてパーツを集める。 【本時】		や	や
5	○大切な人に感謝の気持ちを伝えるカードを作るために、相手が欲しいものを尋ねたり、答えたりしてパーツを集め、カードを作る。		や	や

単元のゴール…届け！わたしの気持ち。大切な人にグリーティングカードを作ってプレゼントしよう！

6 単元の評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
話すこと「やり取り」	〈知識〉色や形などについて、What do you want?や～, please. 及びその関連語句について理解している。 〈技能〉色や形などについて、What do you want?や～, please. 及びその関連語句を用いて欲しいものを尋ねたり要求したりする技能を身に付けている。	大切な人に感謝の気持ちを伝えるカードを作るために、相手に伝わるように工夫しながら、欲しいパーツについて、尋ねたり要求したりして伝え合っている。	大切な人に感謝の気持ちを伝えるカードを作るために、相手に伝わるように工夫しながら、欲しいパーツについて、尋ねたり要求したりして伝え合おうとしている。

7 本時の学習（4／5）

（1）目標

パーツショップで、ほしいパーツを尋ねたり答えたりして伝え合うことができる。

【思考・判断・表現】

(2) 本時の視点

大切な人に感謝を伝える「グリーティングカード」を作るために、パーツショップという場を設定し、どのようなパーツが欲しいのかを尋ねたり、自分が欲しい形、色、大きさ、数などについて伝えたりする活動を取り入れることで、児童が目的や状況に応じた表現を考え、コミュニケーションを取ることができたかを検証する。

(3) 展開

過程	児 童 の 活 動	教師のかかわり・指導上の留意点		
時間	学 習 活 動	外国語専科	ALT の代役	備考
Warm up ⑦	1 Greeting ○あいさつをする。 Let's start English! ○気分、天気、曜日、日付などを答える。	○あいさつをしたり、気分、天気などについて尋ねたりする。 ○ジェスチャーを交えてリズムよく行う。	○一緒にあいさつをする。	
	2 Let's Chant			
Main act 1 ⑧	3 Unit Goal ○単元のゴールを確認する。	Unit Goal 届け!わたしの気持ち。大切な人にグリーティングカードを作ってプレゼントしよう!		めあて
	4 Today's Goal ○本時の課題をつかむ。	○単元の終末で相手が喜ぶグリーティングカードを作って感謝の気持ちを伝えることを確認する。	○カードを受け取り、喜ぶ様子を見せる。	グリーティングカード
Main act 2 ⑨	5 Activity① ○P.29 Let's Listen	○音声のあと、数や色などを児童と確かめる。	○既習の形を黒板に提示していく。	形カード
	6 Activity② ○やり取りの表現を確認する。 What color? / How many? / big、small ○店員とお客に分かれ活動する。(前半)	○児童とやり取りで使う表現を確認し、コミュニケーションポイントを設定する。	○デモンストレーションを行い、児童に見通しをもたせる。	パーツ評価 【思】 【主】
		★POINT eye contact/ reaction		

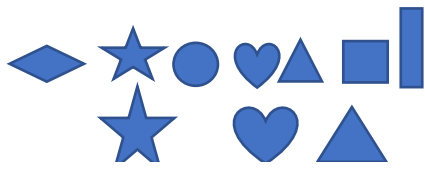
Looking back ⑦	A: Hello. What do you want ? A: くり返し、確認、追加の質問など。 What color?/big、small/How many? A: Ok. Here you are. A: You're welcome. See you.	B: (), please. B: 追加の問いに対する答え。 B : Thank you.	○児童の頑張りを賞賛したり、戸惑っている児童の支援をしたりする。 ○一緒にあいさつをする。	評価 【思】 【主】 振り返り カード
	○中間指導を行う。 前半での気づきをもとに、ポイントを再確認し共有する。 ○役割を交代して、後半の活動を行う。 8 Looking back ○本時の振り返りをする。 9 Good bye ○終わりのあいさつをする。 Let's finish. See you next week.	○コミュニケーション ポイントを意識して活動していた児童を賞賛し、表現や返答に困ったことを共有する。 ○本時の学習を振り返り発表させる。 ○次時の活動を伝える。		

(4) 評価

パーツショップで、欲しいパーツをたずねたり答えたりすることができたかを、行動観察や振り返りカードで評価する。

【思考・判断・表現】

(5) 板書計画

Wednesday November 22nd 天気			
GOAL	届け!わたしの気持ち。大切な人にグリーティングカードを作ってプレゼントしよう!		
Today's Goal	パーツショップで、ほしいパーツをたずねあって、手に入れよう。		
Activity 1	Activity 2	eye contact・reaction	
			
10色、7種類の形、2サイズのカード			
担任の先生への グリーティング カード			